

東京鶴丸会 50回 の あゆみ

東京鶴丸会総会・懇親会50回記念

東京鶴丸会50回のあゆみ

1993 年 平成 5 年	1992 年 平成 4 年	1991 年 平成 3 年	1990 年 平成 2 年	1989 年 平成元年	1988 年 昭和 63 年	1987 年 昭和 62 年	1986 年 昭和 61 年	1985 年 昭和 60 年	1984 年 昭和 59 年	1983 年 昭和 58 年	1982 年 昭和 57 年	1981 年 昭和 56 年	1980 年 昭和 55 年	1980 年 昭和 54 年	1962 年 昭和 37 年	1961 年 昭和 36 年	1960 年 昭和 35 年	年度 (和暦)
大貫絢子 (3 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	永松操 (1 回卒)	会長 (回卒)
第 27 回	第 26 回	第 25 回	第 24 回	第 23 回	第 22 回	第 21 回	第 20 回	第 19 回	第 18 回	第 17 回	第 16 回	第 15 回	第 14 回	第 13 回・・・第 2 回	第 1 回			回数
5 月 27 日 虎の門 パストラル 西勝男 (14 回卒)	5 月 29 日 メルパルク 東京 山本和順 (13 回卒)	5 月 31 日 メルパルク 東京 大脇晋平 (12 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 藤田良隆 (11 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 小牟田日郎 (10 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 有馬宏 (9 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 小田榮作 (8 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 伊牟田浩平 (7 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 米山進也 (6 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 不詳 (5 回卒)	6 月 6 日 三州倶楽部 平川徹 (4 回卒)	6 月 6 日 九段会館 不詳 (3 回卒)	6 月 6 日 九段会館 不詳 (2 回卒)	6 月 6 日 九段会館 山下清廣 (1 回卒)	6 月 6 日 — 永松操 (1 回卒)	— 銀座ライオン 永松操 (1 回卒)			開催日 会場 準備委員長 (回卒)
【新しい東京鶴丸会としての最初の総会・懇親会】 参加者 170 名	【鹿児島県立鶴丸丸高等学校・東京同窓会（東京鶴丸会）として新しくスタート することを決議（任期制を取り入れる）】 参加者数不明	【2 年をかけて新しい東京鶴丸会の組織・運営を検討】 前年までの会場は場所が不便ということで、今回より幹事学年が独自に会場を 選定。また、開催曜日も当年から金曜日に固定。想定以上の参加者のため、 急遽その場でカンパを集め、料理を追加するほどの盛況ぶり。参加者 310 名	【第24回総会後「新しい東京鶴丸会を考える会」プロジェクト設立】 年ごとに開催曜日が異なり曜日によっては集まりにくいという声が多くなり、 次年度より開催日固定を変更。最後の6月6日開催となった。 11回・21回・31回の3学年で幹事を務める。参加者263名	10回・20回・30回の3学年で幹事を務める。 参加者数不明	9回・19回・29回の3学年で幹事を務める。 参加者301名	8回・18回・28回の3学年で幹事を務める。 参加者数不明	【「黒板の思い出」（恩師メッセージ集）製作】 7回・17回・27回の3学年で幹事を務める。 参加者270名			【九段会館の改装工事とコスト面から会場を変更】 参加者301名			【学年順の幹事会制へ移行】 	第2回からしばらくは、年毎に会場を点々とする会であった。 その後、会場を九段会館に固定し、毎年6月6日午後6時から、 卒業生に連絡しなくても毎年皆が集合できるようにした。 南日本新聞に「6・6・6の会」と報道されたこともあった。 永松会長を中心に東京芸大の先輩方が中心となって活動していた。	上京してきた1年生の進路・消息確認を目的として、正式に同窓会活動が スタートした。 第1回は銀座ライオンにて開催。会場に入りきれないほどの人数が集まった。	鶴丸1回卒の同期会にて関東在住の鶴丸同窓会企画の声があがる。 これ以前も大山勝美氏（1回卒）が中心となり、上京してきた学生に対する 同窓会活動は実施されていた。	主なトピックス	



三州倶楽部



九段会館



黒板の思い出（1986）



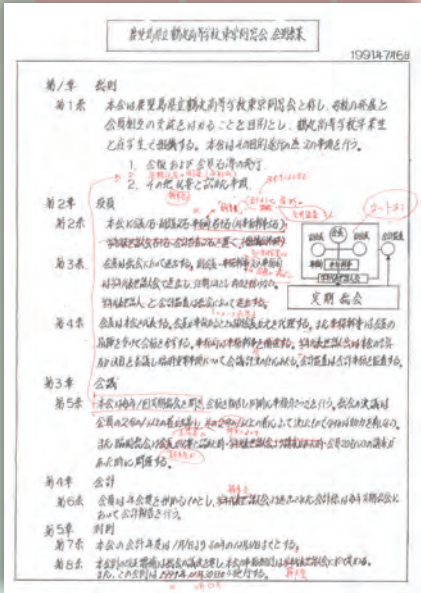
『6・6・6 の会』 初代会長 永松 操（1 回卒）

1960 年、私が東京芸大の 4 年生の時一。鶴丸 1 回卒の東京での同期会の席で、「そろそろ関東在住の鶴丸同窓会を企画しよう」との声が出ました。そこで当時唯一の学生私に、実行責任者の役がまわってきた次第。そこで交友のあった後輩たちにも声をかけて、翌年、枝元君（現在サッポロビール社長 /2 回卒）に頼んで銀座のライオンの宴会ホールで第 1 回東京鶴丸会を開催しました。母校に連絡して、新卒にもよびかけてもらったところ、会場に入りきれないくらいの人数が集まり、翌年からしばらくは年ごとに会場を転々とするジプシーのような回だったことも懐かしい思い出です。また、会の準備に私の住居が使われたこともありましたし、そのお手伝いの中からカップルが生まれて何組もゴールインしています。

第 1 回から 20 数回までは、6 月 6 日 6 時開会を頑固に守り、南日本新聞で「6・6・6 の会」と報道されたこともありました。

3 代目の藤田くんにはバトンタッチするまでの 30 年間、私を助けて積極的に手作りの同窓会作りに取り組んでくださった 2 代目会長の大貫絢子さん（4 回卒）をはじめとする多くの方々に厚くお礼を申し上げます。私は東京鶴丸会初代会長であったことを誇りに、後輩たちの成長を見守りながら、21 世紀に向けてさらに積極的に生きていきたいと思ひます。

（1997 年 はろぼろと創刊号寄稿より）



検討中の同窓会会則（1991）



新しい東京鶴丸会を考える会の案内資料（1990）

【第 1 回東京一鶴会創立】
(6 月 7 日。中野サン
プラザ)

・第 2 回東京一鶴会開催

・第 3 回東京一鶴会開催

理事会での活動

2010 年 平成 22 年	2009 年 平成 21 年	2008 年 平成 20 年	2007 年 平成 19 年	2006 年 平成 18 年	2005 年 平成 17 年	2004 年 平成 16 年	2003 年 平成 15 年	2002 年 平成 14 年	2001 年 平成 13 年	2000 年 平成 12 年	1999 年 平成 11 年	1998 年 平成 10 年	1997 年 平成 9 年	1996 年 平成 8 年	1995 年 平成 7 年	1994 年 平成 6 年
田中和義 (26 回卒)	田中和義 (26 回卒)	橋元秀一 (24 回卒)	橋元秀一 (24 回卒)	橋元秀一 (24 回卒)	宗村森信 (21 回卒)	宗村森信 (21 回卒)	宗村森信 (21 回卒)	西尾孝幸 (19 回卒)	西尾孝幸 (19 回卒)	西尾孝幸 (19 回卒)	荻野廣己 (16 回卒)	荻野廣己 (16 回卒)	荻野廣己 (16 回卒)	藤田良隆 (11 回卒)	藤田良隆 (11 回卒)	藤田良隆 (11 回卒)
第 44 回	第 43 回	第 42 回	第 41 回	第 40 回	第 39 回	第 38 回	第 37 回	第 36 回	第 35 回	第 34 回	第 33 回	第 32 回	第 31 回	第 30 回	第 29 回	第 28 回
6 月 5 日 目黒雅叙園	7 月 4 日 目黒雅叙園	6 月 21 日 虎の門 パストラル 奥努 (29 回卒)	5 月 12 日 ホテル 日航東京 有馬三郎 (28 回卒)	6 月 24 日 虎の門 パストラル 則武輝幸 (27 回卒)	6 月 25 日 虎の門 パストラル 田中和義 (26 回卒)	6 月 12 日 虎の門 パストラル 宮菌猛 (25 回卒)	6 月 28 日 東京 プリンスホテル 橋元秀一 (24 回卒)	6 月 22 日 第一ホテル 東京 川崎修三 (23 回卒)	6 月 16 日 第一ホテル 東京 福森久美 (22 回卒)	6 月 17 日 東京 プリンスホテル 川添浩二 (21 回卒)	6 月 19 日 八重洲 富士屋ホテル 米倉孝一 (20 回卒)	6 月 6 日 ホテル ニューオータニ 西尾孝幸 (19 回卒)	5 月 31 日 如水会館	5 月 25 日 ホテル メトロポリタン 吉永豊 (17 回卒)	5 月 27 日 霞が関・ 東海倶楽部 荻野廣己 (16 回卒)	5 月 28 日 霞が関・ 東海倶楽部 久保正彦 (15 回卒)
千田朋介 (31 回卒)	福元一志 (30 回卒)												萩原伸介 (18 回卒)			
「おーい鶴丸！6月5日だよ。全員集合」 参加者669名 空想科学頭脳、柳田理科雄さんによる「鹿児島 なぞなぞ大会」 鶴丸総会オリジナル・ブリクラ なごみの健康もみもみ企画 【はろばろと60周年記念プロジェクト設立】	「絆 つるまる。あつまる。あつくなる。」 参加者644名【初めて600名を突破】 真剣勝負だ！クラスマッチ 青春の今昔物語（鶴丸高校突撃レポート） 【一中・一高女・夜間課程卒業生を迎え、 新たな東京鶴丸会結成】	「つるまるUNITED！みんな、つながっている」 参加者500名 『校歌でふりかえる学び舎』 【一中・一高女・夜間課程の校歌・学生歌の斉唱がスタート】	「悠久の時空を翔けて・・・連綿と鶴丸DNA」 参加者数不明 混声4部合唱による校歌斉唱 【一中・一高女・夜間課程の卒業生を初めて招待】	「つるんで参加の同窓会、るすばんまかせて同窓会（女性の方、大歓迎！）、 まじにはまって同窓会、るんるん気分の同窓会！！」参加者383名 同窓会にちなんだ短歌・俳句・薩摩狂句コンクール 「2002（つるまるに）大集合“TSURUMARUCUP 36”」 参加者341名。作曲者郡山正先生指揮による校歌斉唱実現 ふるさとにちなんだ短歌・俳句・薩摩狂句コンクール 「元気ある未来へ」「活」 参加者426名【初めて400名を突破】 （母校創立110周年記念） 「東京鶴丸会に110（行っど）ー！！」参加者437名 薩摩狂句コンクール 「時の扉を開いてー共鳴する記憶 明日への勇気ー」（統一テーマ） （母校創立111周年）「第39回東京鶴丸会デ111（いい1日）を」 111（いい人）と」参加者462名 短歌・俳句・川柳・薩摩狂句コンクール 「てげてげでスローライフ」 参加者579名【初めて500名を突破】 辛島美登里さんミニコンサート&トーク。 同窓会にちなんだケータイ短歌コンクール	「はろばろと60周年記念プロジェクト設立」	「今年こそ是非来てほしいー第31回東京鶴丸会」 参加者340名 「プロジェクトを使った会場での写真投影を初めて実施」 「ぎつと意外な出会いが・・・」 第32回東京鶴丸会で、ネットワークを広げよう。」 参加者393名 「1900年代最後の東京鶴丸会をあなたと過ごしたい。」 参加者260名 【総会後に学年同窓会を開催できるように早めのスタートが慣例化】 参加者341名 「ミレニアムつるまる」 参加者341名	「会えてよかったー鶴丸会」【テーマを設定した総会・懇親会がスタート】 参加者381名「アンケートを実施し、今回より土曜開催に変更」 【開催案内を往復はがきから封筒に変更し広告を募集】第一号が「さつまや」 「東京鶴丸会が魅力ある会ー参集したくなる会」にするための議論あり 「うれしい同窓会のお誘い今年も、また君に会おうー！！」 参加者236名 「気楽に“おさいじゃんせ”同窓会へ！」 参加者274名 【年会費の徴収を開始】	「はろばろと1号創刊 ・登録制の鶴丸会HP開設（4月） ・会員名簿電子化構築開始 ・第5回東京一鶴会開催（11月8日） 【第1回渋谷・鹿児島おはら祭り開催】（4月12日） 東京鶴丸会参加：踊り手41名。 連長 酒井宏興（5回卒） 鶴丸連は衣装が無くMBCより法被を借りての参加 ・第2回渋谷・鹿児島おはら祭（5月16日） 踊り手50名。連長 酒井宏興（5回卒） 【法被を作製】 当初数年は鹿児島より10名程度の応援有り	「はろばろと創刊号 ・第4回東京一鶴会開催							
 鶴丸連 グランプリ受賞の記念撮影（2010）											 鶴丸連（1998）					
・第13回渋谷・鹿児島おはら祭（5月16日） 【グランプリ受賞】踊り手54名・サポーター4名。連長金田ちあき（25回卒） ・第7回GO鶴セミナー（7月15日。44事業所） ・第3回鶴ナビ開催（10月16日。学生40名） ・第2回ゴルフ大会開催（11月6日） 参加者43名。優勝者佐々木幹夫（22回卒）	【第1回鶴ナビ開催】（3月1日。学生20名） 【最後の一鶴会】8回東京一鶴会開催（3月14日。スクワール麹町） ・第12回渋谷・鹿児島おはら祭（5月17日） 踊り手50名。連長金田ちあき（25回卒） 【寄付金により法被72着を追加作製】 全員鶴丸法被で参加 ・第6回GO鶴セミナー（7月16日。49事業所） ・第2回鶴ナビ開催（10月3日。学生23名） 【第1回ゴルフ大会開催】（11月14日） 優勝者 橋原高見（26回卒）	・第11回渋谷・鹿児島おはら祭（5月18日） 踊り手50名。連長金田ちあき（25回卒） 鶴丸法被とMBCから借りた法被と半々で参加 ・第5回GO鶴セミナー（7月16日。46事業所）	・第10回渋谷・鹿児島おはら祭（5月13日） 踊り手18名。連長金田ちあき（25回卒） ・第4回GO鶴セミナー（7月18日。45事業所）	・第9回渋谷・鹿児島おはら祭（5月21日） 踊り手28名。連長金田ちあき（25回卒） ・第3回GO鶴セミナー（7月13日。45事業所）	・第8回渋谷・鹿児島おはら祭（5月22日） 踊り手25名。連長 酒井宏興（5回卒） ・第2回GO鶴セミナー（7月13日。41事業所）	・第7回東京一鶴会開催（3月6日。スクワール麹町） ・第7回渋谷・鹿児島おはら祭（5月16日） 踊り手25名。連長 酒井宏興（5回卒） 【第1回GO鶴セミナー】（7月15日。35事業所）	・第6回渋谷・鹿児島おはら祭（5月25日） 雨天のため代々木体育館で開催 踊り手30名。連長 河野浩一（25回卒）	・第5回渋谷・鹿児島おはら祭（4月21日） 踊り手33名。連長 河野浩一（25回卒）	・第4回渋谷・鹿児島おはら祭（4月22日） 踊り手35名。連長 河野浩一（25回卒）	・第3回渋谷・鹿児島おはら祭（4月23日） 踊り手32名。連長 河野浩一（25回卒）	・第6回東京一鶴会開催 ・第3回渋谷・鹿児島おはら祭（4月23日） 踊り手32名。連長 河野浩一（25回卒）	・第2回渋谷・鹿児島おはら祭（5月16日） 踊り手50名。連長 酒井宏興（5回卒） 【法被を作製】 当初数年は鹿児島より10名程度の応援有り	【第1回渋谷・鹿児島おはら祭り開催】（4月12日） 東京鶴丸会参加：踊り手41名。 連長 酒井宏興（5回卒） 鶴丸連は衣装が無くMBCより法被を借りての参加		・第4回東京一鶴会開催	
はろばろと13号	はろばろと12号	はろばろと11号	はろばろと10号	はろばろと9号	はろばろと8号	はろばろと7号	はろばろと6号	はろばろと5号	はろばろと4号	はろばろと3号	《欠番》	はろばろと2号	はろばろと創刊号			

『60年代になって、永松操氏を中心に東京鶴丸会はスタートしました。』 第2代会長 大貫 絢子（3回卒）

鶴丸高校が正式に発足したのは、1949年（昭和24年）4月、第一回卒業生を出したのが、1950年（昭和25年）3月です。

その頃、鹿児島から東京へは、特急列車で 25 時間かかっていましたので、極く限られた東京の大学へ進学する人もほんとに少なかったのです。当時、一中会には、男女共学反対があったり、一高女 OG 会は、何故か気位高い集まりで、合併できず。したがって、鶴丸高校の同窓会はありませんでした。

1960年代も後半になり、永松操氏（一回卒、東京芸大油絵科卒）が個人的な知人を集めて東京鶴丸会をつくろうということになりました。当時は携帯電話もメールも無かったので、3月に卒業した人が東京のどの大学に正式に入学したのか？住所はどこにしたのか？が解らない人が多かったのです。鶴丸高校からの要望もあって、「とにかく、6月6日に九段会館へ行けば、新卒者のニュースがわかるようにしよう」と考えました。これには、新卒の世話人の方々が並々ならぬ努力で、6月6日までに同期の人の情報を集めて下さったことは忘れられません。

時代は変わって、東京鶴丸会のメンバーも東京の大学の卒業生や学生だけでなくってきました。

一方で、一中会の中村四郎会長（東大卒⇒旧内務省）が「このへんで、一中、一高女、鶴丸高校、夜間部を統合して、東京で恥ずかしい品格を備えた同窓会をつくりたい」とおっしゃり、努力されました。一中会からは春成さんと富田さん、一高女からは佐方さんと亀徳さん、鶴丸高校からは私大貫のほか、西尾孝幸さんらが、中村会長のもとで準備に関わり、第一回総会を中野サンプラザで開催するところまでこぎつけました。

その頃、永松会長が体調をこわれ、亡くなってしまわれたので、急遽、私大貫が会長代理となって「新しい東京鶴丸会を考える会」を立ち上げました。そこには、西尾孝幸さん（19回卒）、石原満知子さん（20回卒）、宗村森信さん（20回卒）、田中和義さん（26回卒）等々が参加して下さい、何回も話し合いの会を持って現在のような「会長も3年毎の当番制にしよう」ということになりました。

『いやあ楽しい3年でした』 第3代会長 藤田 良隆（11回卒）

初代が築きあげる。2代目が更に発展伸長させる。3代目のボンクラが身の上つぶす。世間にはよくあることのようにです。そんな資質充分の私が3代目会長をお引き受けし、諸先輩、会員の皆様にはご心配をおかけしましたが、同時に役員になってくださった11名の理事の方々のサポートと毎年の担当幹事の皆様のご尽力のお陰で何とか無事に3年間の任期を全うすることができたと思います。皆様、ありがとうございました。

さて、同窓会というものは、もともと過去を基盤にしているのですから、さほど建設的な集まりでなくとも良いように思います。ことにこの東京鶴丸会は故郷を遠く離れた所での校友の集まりですから、気のおけないホッとする、ただただ楽しいという場で、まずは充分なのではないでしょうか。こじつければ、それが明日の活力にもつながるでしょうから。

そんな観点から私にとって3年間の会長期間中は「マコテ 楽シモンゴワシタ」。たくさんの方の未知の先輩、後輩と旧知の如くうちとけてノンカタをし、語り合い、唄いあうことができました。忘れかけていたカゴツマ弁もツーツー語イガナッゴイナツモンシタ。会長だったからではありません。学舎を共にする同窓生同志だから楽しく語り合えるのです。

同窓会も楽しい。総会もまた楽しい。

皆さんも毎年1回の総会にぜひ「オサイジャッタモンセ。楽シゴワンド～。みんなドシゴワンド」。（1997年 はろばろと創刊号寄稿より）

『会長としての思い出』 第6代会長 宗村 森信（21回卒）

平成13年の某日。私は、東京鶴丸会の歴代会長3名、すなわち11回卒藤田良隆、16回卒荻野廣巳、19回卒西尾孝幸の各先輩の呼び出しを受けて、有楽町のとある飲食店に赴いた。用件については確たる説明もないままの呼出しであったが、ノコノコ出掛けてみた。すると西尾先輩から、いきなり「鶴丸会の会長を引き受けろ」とのご下命。びっくり仰天、「私は器ではない。」等と頻りに断るも、「今日の会費は私ねなくとよいから。」等と巧妙な手口と、所詮は多勢に無勢で抗しきれず、同期の同意を条件に呑んでしまった。

同期はキット反対するに違いないから、約束しても反故に帰するは火を見るより明らかとの軽い目論見もあつてのことであつた。

ところが、このように条件付き承諾であつたものの、期待した同期から反対意見は出ず、結局会長を引き受ける羽目になってしまったのです。

荒海に漕ぎ出す小船の心境で就任したもの、スタッフに恵まれたことと、先輩・同期の暖かい支援と後輩方の協力もあり、極めて楽しく3年を過ごすことが出来ました。

3年間で一番思い出に残っているのは、現在まで続いている「GO鶴セミナー」を始めたことです。既に故人になった鞍掛巳千治君が当時母校の教頭になっており、同期の誼で提案があつたようでした。それ以来回を重ね、既に10数回に及んでいるのは、誠に感慨深いものがあります。

『鶴丸高校東京同窓会会長時代の思い出』 第5代会長 西尾 孝幸（19回卒）

私が会長になったのは、4代目会長16回卒の荻野先輩の後、6代目会長21回卒の宗村君の前で、19回卒5代目です。前後のお二人の元会長が、今でも東京鶴丸会を支えている熱意には頭が下がります。今のような、東京鶴丸会を後輩の皆様にお任せできるような仕組みができて、ほんとに良かったと思っています。

東京鶴丸会会長は1回卒業の永松先輩(故人)が長年その地位にありましたが、会長選出方法をよくめ改革をしようことで、3回卒の大貫先輩が会長代行（2代目会長）として「新しい東京鶴丸会を考える会」ができました。その中で決定したのが3年ごとに3期にわたる卒業生から理事・会長を選出する方式です。この東京鶴丸会の会長選出方式は11回卒の藤田先輩（故人）が3代目会長となって実質的にスタートし、以後3年刻みで順繰りに会長が選出され、今日に至っています。東京鶴丸会総会を卒業30年目の卒業生が担当し、その前後の3年の学年から新たな理事と会長が、自主的に選任されてきました。

会長選びは、なかなか成り手がいないし、いったんなると誰に引き継ぐかで苦労します。このシステムでは、総会を担って盛り上がった学年で、やる気が満ちていますし、任期が3年で終わるので、引き受けやすい。自主的に選任され、運営されるという仕組みがとてもよいと思います。今後とも東京鶴丸会が発展するよう祈念しております。

2016 年 平成 28 年	2015 年 平成 27 年	2014 年 平成 26 年	2013 年 平成 25 年	2012 年 平成 24 年	2011 年 平成 23 年
榎田卓央 (32 回卒)	榎田卓央 (32 回卒)	千田朋介 (31 回卒) 代行	奥努 (29 回卒)	奥努 (29 回卒)	田中和義 (26 回卒)
第 50 回	第 49 回	第 48 回	第 47 回	第 46 回	第 45 回
6 月 4 日 TKP ガーデン シティ品川 益田和久 (37 回卒)	6 月 6 日 TKP ガーデン シティ品川 下福聡 (36 回卒)	6 月 28 日 TKP ガーデン シティ品川 青屋達雄 (35 回卒)	6 月 22 日 目黒雅叙園 宮原義久 (34 回卒)	6 月 23 日 目黒雅叙園 松延真一 (33 回卒)	6 月 25 日 目黒雅叙園 榎田卓央 (32 回卒)
「ロクテンヨン シナガワ」 World Wide HAROBAROTO 彫まれた互充 展けゆく娯重」 【東京鶴丸会 50 回記念総会・懇親会】	「時かける鶴」はろばろと 結廻る 夏」 参加者 585 名 ドローンによる鶴丸高校の空撮 鶴丸リカちゃん製作。鶴丸川柳 【今後の東京鶴丸会のあり方プロジェクト】設立】 【東京鶴丸会 50 回記念プロジェクト】設立】	「鶴が舞う。人を結う。時を紡ぐ。」 参加者 646 名 ふるさと鹿児島の特産品が当たる大抽選会 参加者全員が着席スタイルの総会・懇親会	「こけ今夏！ KOKE KONKA」つるまる平成四半世紀の舞台」 参加者 632 名 史上初！生中継「ズームイン！つるまる」 クイズ「発掘！つるまる大辞典」 メグロでナンコ	「久しぶりっ！あの頃に戻って懐かしい友と語り合い、そして新たな同窓の友と出会ってほしい」参加者 720 名 「はろばろと誕生物語」校歌制定 60 周年記念 DVD 製作」	「出会う会いたかった友がいる 新たな友もここにいる」 参加者 736 名【初めて 700 名を突破】 鶴丸 De 愛合唱団結成 辛島美登里さん・菊野克紀さんによるチャリティ 鶴丸 De ビンゴ（大抽選会） はろばろと 60 周年記念プロジェクトの成果披露 【総会・懇親会資封入作業を機械化】
「はろばろと誕生秘話」 校歌制定 60 周年記念 DVD (2012)					
・世界同時ライブ中継 ・今年もやります 鶴丸川柳 ・混成合唱団「鶴丸De愛」発展的再結成 ・鶴丸高校応援歌「蒼天翔ける」誕生秘話					
・第 19 回渋谷・鹿児島おはら祭（6 月 12 日） 連長 唐牛文彦（30 回卒） ・第 8 回ゴルフ大会開催（7 月 2 日） GO 鶴セミナー 2016（7 月 14 日）	・第 18 回渋谷・鹿児島おはら祭（5 月 17 日） 踊り手 64 名・サポーター 12 名。 連長 唐牛文彦（30 回卒） GO 鶴セミナー 2015（7 月 16 日。44 事業所） 第 7 回ゴルフ大会開催（10 月 24 日） 参加者 32 名。優勝者 田中正樹（30 回卒） 第 8 回鶴ナビ開催（11 月 21 日。学生 21 名）	・第 17 回渋谷・鹿児島おはら祭（5 月 18 日） 踊り手 61 名・サポーター 13 名。 連長 永野健一郎（19 回卒） GO 鶴セミナー 2014（7 月 17 日。54 事業所） 第 7 回鶴ナビ開催（10 月 4 日。学生 8 名） 第 6 回ゴルフ大会開催（10 月 25 日） 参加者 40 名。優勝者 森富弘（26 回卒）	・第 16 回渋谷・鹿児島おはら祭（5 月 19 日） 【知事賞受賞】踊り手 41 名・サポーター 8 名。 連長 永野健一郎（19 回卒） 第 5 回ゴルフ大会開催（6 月 29 日） 参加者 27 名。優勝者 田中和義（26 回卒） GO 鶴セミナー 2013（7 月 18 日。49 事業所） 第 6 回鶴ナビ開催（10 月 5 日。学生 33 名）	・第 15 回渋谷・鹿児島おはら祭（5 月 20 日） 【フォトグランプリ受賞】踊り手 37 名・サポーター 6 名。連長 永野健一郎（19 回卒） 第 4 回ゴルフ大会開催（6 月 30 日） 参加者 34 名。優勝者 宮園猛（25 回卒） GO 鶴セミナー 2012（7 月 18 日。56 事業所） 第 5 回鶴ナビ開催（10 月 6 日。学生 40 名） 【公式 HP オープン】（11 月）	・第 14 回渋谷・鹿児島おはら祭中止 ・鹿児島鶴丸連の立上げに協力し、東京鶴丸連の 17 名が鹿児島のおはら祭に参加 ・第 3 回ゴルフ大会開催（7 月 2 日） 参加者 48 名。優勝者 大久保和一郎（26 回卒） ・第 8 回 GO 鶴セミナー中止 ・第 4 回鶴ナビ開催（10 月 1 日。学生 30 名）

はろぼろと 第 50 回記念特別号 に寄せて 第 8 代会長 田中 和義 (26 回卒)

私は、平成 20 年夏の総会で選ばれてから、同 23 年夏の総会までの 3 年間、会長を務めました。その間の、私を含む理事の足跡を振り返ってみたいと思います。紙面の関係で、その期に初めて企画された、主な項目を挙げるだけになるかとは思いますが。

1. まずは就任直後から「東京一鶴会」の準備に入りました。翌 21 年 3 月 14 日、四谷のスクワール麹町で第 8 回目にして最後となる、東京「一中、一高女、夜間、鶴丸」合同同窓会を開催したのです。そしてその年の鶴丸総会で「一中、一高女、夜間」の皆様には「東京鶴丸会」の会員になって頂きました。

2. 次に、鶴丸在学生のための「GO 鶴セミナー」に加えて、大学生版「GO 鶴セミナー」を企画しました。「親元を離れている後輩たちのために、親代わりになって就職の相談に乗ろう」というものです。現在も「鶴ナビ」として活発に活動がなされています。

3. さらにレクレーションとして「ゴルフコンペ」も企画しました。同期でコンペを楽しんでいる期も多いと聞き、それなら全体でもやってみようということで始めました。この様子についてはゴルフ幹事の別稿をお読みください。

その他の定例行事をこなしているうちに 3 年間はあっという間に過ぎました。総会の参加者は短期間のうちに急激に増加しました。私は規模が大きくなることは望んでいません。故郷から遠く離れた地で暮らす我々が、まだ鹿児島と繋がっているということを実感できる、そんな存在であればよいと思っています。「東京鶴丸会」50 周年 ありがとう。

ニューヨークからのメール 第 9 代会長代行 千田 朋介 (31 回卒)

2013 年 4 月 2 日、当時の奥会長からメールをいただきました。ニューヨークの現地法人に Outreach されるとのことで、3 人の副会長の誰かにしばらく代行して欲しい、という内容でした。

副会長は、29 回卒の大人形先輩、30 回卒の白石先輩と 31 回卒の私の三人です。本来ですと、一番の若輩の私が心配することではないのですが、大人形先輩は札幌勤務、白石先輩は東京と鹿児島を行ったり来たりされている状況であったため、私が代行させていただくことになりました。

引き受けてからすぐに感じたのは鹿児島弁の重要性です。会長代行としての重要な仕事のひとつにいろんな行事でのスピーチがありますが、私は鹿児島弁が流暢に話せません。奥会長のように軽妙な鹿児島弁のスピーチで一気に時間と空間を鹿児島・鶴丸高校の場面に転換させるという技がありませんでした。

そんな鹿児島弁のハンディはありましたが、一年間、東京鶴丸会の一連の行事に会長代行を務めることができましたのは、支えてくださった多くのおみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

そして、昨年、鹿児島弁の大変流暢な榎田現会長に引き継ぐことができました。

榎田会長を始めとする現理事会は、東京鶴丸会のさらなる発展のために良きことをいろいろ取り入れて行こうという姿勢がうかがえます。大変素晴らしい事ですので、微力ながら理事会 OB として支えていければ、と思っております。

『“つながり”を実感する同窓会』 第 7 代会長 橋元 秀一 (24 回卒)

近年の東京鶴丸会の発展、充実ぶりには目をみはるものがあります。総会・懇親会参加者は大変増えました。2003 年に初めて 400 名を超え (426 名、幹事団 24 回生)、2006 年には 520 名 (同 27 回生)、そして最近では 700 名を超える方々がご参集くださるようになりました。プログラムも、演出はプロ並みと言って良いほど素晴らしいものです。

参加者が増えた一因には、新卒上京者の参加が年々増加したことがあります。転機となったのは、新卒上京者の歓迎会を事前に開催したこと。最初に行われたのは 2003 年でした。当時、個人情報保護法の関係で、新卒上京者の連絡先が入手できなくなる懸念がありました。24 回生たちは鹿児島の同級生とのつながりで把握できた新卒上京者に声をかけて事前歓迎会を行い、総会への参加を同級生たちに呼びかけてもらったのです。現在、毎年、事前歓迎会が行われ、総会へ大勢の新卒上京者が参加するようになりました。そして、大勢の先輩方が集い楽しく興じる姿を見て感激し、東京鶴丸会のつながりを実感しています。

この“つながり”への思いこそ、東京鶴丸会の財産です。“つながり”を大切に思い実感できる同窓会であり続けたいと念願しています。そのためには、同窓会らしい手作り感や手弁当でのみんなの協力を重視することが大切ではないでしょうか。それぞれが“つながり”を思い起こし、元気をもらって帰る同窓会であり続けたいと思います。同時に、頑張って準備して下さる幹事学年の方々が、是非、一番楽しんでください！

校歌はろぼろと 60 周年記念事業 第 9 代会長 奥 努 (29 回卒)

2009 年のある土曜日の午後、NHK の FM 放送で「はろぼろと」が流れました。これを聞いて感激された 6 回卒の方から、校歌はろぼろと制定 60 周年を記念する事業の提案があり、田中会長のときに、東京鶴丸会に、60 周年記念事業実行委員会が設置されました。わたしもこの委員会に招集され、宗村先輩の事務所の会議室での会合に出席するようになりました。

同窓生に実費で頒布することを目的に、記念誌と DVD を作成することでスタートしましたが、その後記念誌は断念して、DVD 制作に集中することになりました。2011 年 4 月には鹿児島テレビさんの全面的な協力を得ることができました。2011 年の東京鶴丸会総会で田中会長から会長を引き継いでからも、作詞の中馬先生、作曲の郡山先生のインタビューを収録するなど、メンバーで鋭意制作を進めました。そして DVD の目玉である「100 人大合唱」を、2012 年 3 月 23 日に谷山のサザンホールで収録することができました。母校と鹿児島の皆さんの協力を得て、鶴丸の音楽部の生徒 27 人と卒業生 79 人の 106 人が参加する大合唱でした。そして、何とか 2012 年 6 月の東京鶴丸会総会同窓会までに完成することができました。校歌の誕生物語を残すことができ、本当によかったと思っています。この場で制作に携わってくださった皆さんに改めて御礼を申し上げます。

そして私は 2013 年に海外赴任を命ぜられ、残り 1 年の任期を千田さんに託しました。3 年間の会長職を全うできずに大変申し訳なく思っております。

「東京鶴丸会」が第 50 回の節目を迎えます！ 第 10 代会長 榎田 卓央 (32 回卒)

この 6 月に実施される総会・懇親会で、東京鶴丸会は 50 回目の開催となります。

この節目に、東京鶴丸会の歴史を振り返るにあたり、多くの先輩方から貴重な資料のご提供を受け、また直接お話を伺う機会に恵まれました。校歌にも歌われているような“歴史をおもふ”日々を送りながら、ここにまとめることが出来ました。紙上をお借りして、先輩方に心からの感謝を申し上げます。

ここにお届けする『東京鶴丸会 50 回のあゆみ』、そこには様々な出来事や思い出がちりばめられています。全ての年代の皆様に、懐かしく感じていただけたら幸いです。

おことわり：本誌は東京鶴丸会会員からご提供いただいた情報や資料に基づき作成しています。文言等の表現は当時のままで掲載しております。

【発行】2016 年 4 月 1 日

東京鶴丸会事務局：〒231-0821 横浜市中区本牧原 21-6-1010 / TEL 080-1143-3254

東京鶴丸会会長：榎田 卓央 (32 回卒) / 編集責任者：松元 和伸 (32 回卒) / 編集担当者：理事会 50 回記念プロジェクト一同 / レイアウト：嶺里 永子 (52 回卒)